

当社運航乗務員から運航前にアルコールが検出されたこと について

2018年11月15日

11月14日(水)、羽田空港 8:40 発 新千歳空港 10:20 着 705 便に乗務予定だった機長から、アルコール検査で陽性反応が確認されました。そのためさらに詳しい検査(「マウスピース」を使用して、呼気を集中的に吹き込み数値を検出する)を実施しようとしたのですが、その場にいた乗務員ならびに運航支援者ともに計測機器の取り扱いに不慣れであったため数値測定ができないことから、安全を重視して機長を交替いたしました。これにより、当該 705 便は予定より約 23 分遅れて羽田空港を出発いたしました。

ご搭乗のお客様、ならびにご関係の皆様にご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。

その後、当該機長にヒアリングと数値の検査を実施しました。

9:37 陽性反応が検出されアルコール濃度は 0.10 mg/lでした。

10:06 アルコール濃度は 0.08 mg/lでした。

当社が乗務不可としている基準値は 0.15 mg/l以上です。

今後はこのような事態が発生しないように、あらためて飲酒に関する社内規定を徹底するなど、再発防止に取り組んでまいります。